栗東国際交流協会　会報

Koryu

Ritto　International　Friendship　Association

２０１０年新年号

（Vol. 40）

栗東国際交流協会（ RIFA ）
〒520-3088　滋賀県栗東市安養寺 1-13-33
TEL　077-551-0293
FAX　077-554-1123
ホームページ　http://www.rifa.jp/
メールアドレス　mail@rifa.jp
編集　総務広報委員会

第 33 回　異文化交流サロン（文化交流委員会主催）

世界と出会う交流広場 in 滋賀がいいもん市

日　　時：2009 年 11 月 8 日（日）
スタッフ：約 50 名
場　　所：栗東芸術文化会館さきら　シンボル広場
共　　催：ＮＰＯ法人滋賀ものづくりネット
協　　力：ＪＩＣＡ大阪国際センター

RIFA 文化交流委員のお二人が、異国情緒あふれる５曲を披露！ホームページで、歌声を聴くことができます。
（石川＆奥村ペア）

サルサ
ラテンの国で親しまれている踊り。ペアで踊ります。美容と、健康に役立つ！
（ルーベン＆ジャッケリネチーム）

カポエイラ
ブラジルで生まれた格闘技。踊りのような護身術。発表後もみんなで練習しているところをパチリ。
（チーム　ガハ）

サンバ
ブラジルの踊り。リオのカーニバルが有名。メイクと衣装着替えに 2 時間！見よ、この華やかさ！おや？カメラマンが多い？（笑）
（チーム
アクアレイラ）

RIFA メンバー大集合！ 文化交流委員や総務広報委員、韓国語講座、英会話講座、日本語教室ほか、多くのメンバーが集まりました。

韓国語講座はお揃いの黄色いTシャツでチヂミを販売。もっちりとした食感で大好評！

昨年に引き続き、『世界と出会う交流広場 in 滋賀がいいもん市』が11月8日（日）、さきらシンボル広場で開催されました。

味の広場のテントでは、ペルーのエンパナーダ、インカコーラ、ブラジルのチョリソー、メキシコのタコス、韓国のチヂミ、トルコのケバブサンド、台湾の牛肉麺、月餅、アンデスのピタパン、タイのタイ式ラーメンなど、日本では珍しい国際色豊かな食べ物がズラリと並び、行列のできる所も見られました。

イベント広場では、黒い衣装で颯爽としたメンバーの軽快なラテンのリズムにのったサルサダンスの発表がありました。会場に来ていた子どもたちも指導を受けて、ちょっと恥ずかしそうに一緒に踊る、微笑ましい交流風景もあり、世界との交流の場になりました。

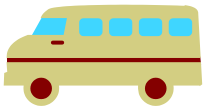
（取材：K.N）

国際理解クイズ大会
「栗東市には、外国籍住民の方が約 1,200 人住んでいる」○か×か、など、身近な問題多数！
（進行：龍谷大学生）

今年度は、栗東市内および近隣の外国籍住民の方々もお店を出店し、昨年とは違った魅力で盛り上がりました。（全 12 店舗）

第 34 回異文化交流サロン（文化交流委員会主催）

栗東再発見バスツアー



と　き：2009 年 11 月 29 日（日）
参加者：30 名（うち外国籍 10 名）
場　所：栗東市内

RIFA恒例の「異文化交流サロン」。今回は、インドネシア・ペルー・中国・ベトナム・日本の 30 名が参加。市内の文化財を訪ねて栗東の歴史を感じ、昔の生活を学び、自然の景観を楽しんだバスツアーでした。

歴史民俗博物館（旧中島家）→県民の森・こんぜの里→金勝寺・馬頭観音堂（市内一望）→旧和中散本舗

午前 10 時に市役所を出発して、まず栗東歴史民俗博物館の敷地内にある旧中島家住宅を訪れました。かまどでご飯を焚き、おにぎりをつくるという体験をしました。旧中島家は明治時代初頭の建物で、屋内は灯りがなく、ほんのり薄暗く、「むかしの暮らし」を体験することができました。 学芸員の大西さんのお話の後、準備にとりかかりました。この日は一度に4升ものお米を炊くので、“お米をかす”のも一苦労。（“かす”というのは、“米を研ぐ”ことです。）

親子でフーッフーッフーッ！お父さんがんばれ！お釜の蓋に火吹き竹をあてると、音が聞こえます。“ゴロゴロ”なら、まだまだ。“シュワー”に変わったら、炊き上がりが近い合図です。そろそろおいしいご飯が炊き上がったかな？

一時間ほどでおいしそうに炊き上がり、おにぎりを作ってできあがり！焼きイモと一緒に、こんぜの里でいただきました。

▲お父さんと一緒にフーッフーッ

▲炊き上がりはまだかな？

▲旧和中散本舗の薬を作る機械

▲金勝寺にて

その後、金勝寺と馬頭観音堂で、紅葉や市内の景色を堪能した後、六地蔵にある旧和中散本舗に向かいました。

旧和中散本舗は徳川家康の腹痛を治した薬といわれる「和中散」を製造・販売するとともに、梅の木という名の東海道小休本陣でもあったそうです。第 24 代当主、大角弥右衛門さんのお話を伺い、国指定文化財の建物や庭園を見学させていただきました。

昔の人々が残した財産は、形に残るものばかりでなく、まずは身近なところにある歴史や文化を知ることが国際理解への第一歩、その意味でも有意義な一日でした。

（取材：A.O）

才　紅（中村　友美）さん　～バスツアーで出会った仲間を紹介します～

1984 年に中国から来日。今回は栗東市の写真コンクール（RITTO フォトコンテスト）に出品する写真を撮影するため、バスツアーに参加。

家族全員が、映画関係者（父親の才汝彬さんは映画「ラストエンペラー」のプロデューサー）という環境で育った才さん。彼女が撮る写真は、普段、見過ごしてしまっているようなシーンばかりで、色使いの美しさには本当に驚かされます。ぜひ、カラーでご覧頂きたいので、RIFA のホームページにアクセスしてください。　⇒　http://www.rifa.jp

▲馬頭観音堂から市内を一望！
ピンクに紫のコート、緑の袋が映えます。

＊＊

ＲＩＦＡを応援していただいている法人会員さんです。詳しくは、ホームページリンクよりご覧ください。

株式会社　スマイ印刷　株式会社　宝文堂　京阪津ツーリスト　栗東総合産業株式会社

第３回世界と出会う玉手箱（連続５回講座）　with ハローキッズ

メキシコ・クリスマスパーティー

と　き：2009 年 12 月 19 日（土）
参加者：111 名（ゲスト含む）
場　所：中央公民館（大ホール）
共　催：ＪＩＣＡ大阪国際センター
　　ハローキッズ

　待ちに待った「メキシコ・クリスマスパーティー」の日がやってきました。早く始まらないかと目をキラキラ輝かせて待っている子どもたち。メキシコはどんな国？正にそれを知る“アミーゴ度チェック！”から始まりました。メキシコの人たちがどんなものを食べ、どのように生活しているかをクイズ形式で学んだら、突然、民族衣装をまとったペアが現れ、メキシコのダンスを披露。メキシコ人留学生のジャニラさん（メキシコ人）と、ハローキッズ会長の國野太史さん。このペアは、なんと前日に結成されたというから驚き。そして、ジャニラさんやサンタさんと一緒に、スペイン語で、あいさつや自己紹介をしました。
　メキシコのゲーム“ロテリア（ビンゴゲーム）”では、世界各国のお土産をもらって、満面の笑顔。ちょうどお昼になり、初めて食べる“タコス”のおいしいこと！お代わりする人続出で大盛況。締めくくりは、子どもたちが期待に燃えている“ピニャータ（お菓子の詰まったくす玉のようなもの）”。スイカ割りよろしく、ピニャータ割り。吊るしてあるピニャータを割るのはなかなか難しいけれど、割れてお菓子が出た時は、本当にうれしそう。子どもたちにとって、知らない国の文化を知る貴重な体験のできた一日でした。（取材：MOCO）

【参加した子どもたちのアンケートから】
・ビンゴ（ロテリア）は、知らない人と仲良くなれてよかった。豆をおいて、全部の絵をそろえるなど、日本でしているビンゴと違っていておもしろい。
・メキシコの服がすごくかわいかった。
・タコスがおいしかった。家でも作りたい。

▲トウモロコシの粉をこねて、タコスの生地（トルティージャ）を作りました。これは、生地をのばす機械。

▲ダンスペアとサンタさんの登場！

メキシコ版　ピニャータ　こぼれ話

▲ メキシコで売られているピニャータ

　クリスマスパーティや、誕生会など、子どもが参加するイベントでは欠かせない。クリスマスが近づくと、街中＆市場には多くのピニャータが出現する。
　クリスマスでは、丸に７つの角が付いた星の形がよく使われる。カトリック教が主流のメキシコでは、7 つの角は、人間の 7 つの心の弱さ（物欲、傲慢など）を表しており、「心の弱さに打ち勝つ！」という意味で、ピニャータを壊して、勝ったらご褒美にお菓子が出てくる‥らしい（笑）。
　ただ、今は華やかなデコレーション的意味合いのほうが強くなっているので、誕生会などで使われるのは、動物やアニメのキャラクターの形をしたピニャータ。でも、叩き壊すのよね？う～～～ん。なんだか、かわいいからこそ、怖いような気が‥‥。見慣れていない日本人的には微妙な心境。（N.M）

▲えいっ！割れるかな？

▲栗東少年少女合唱団のきれいな歌声

出前講座　2009/12/02　（水）栗東ロータリークラブさん定例会にて　（於：栗東市商工会館）

　今年度の事業「世界と出会う玉手箱」を一緒に行っているＪＩＣＡ大阪の魚谷未夏さんが、自身のケニアでの体験談をお話しされました。「オバマ米大統領のおばあちゃんは、部族語のルオ語しか話せず、読み書きもできないけれど、テレビに映る孫をうれしそうに見ている」「キリンの走る姿の美しさは感動！」など、遠いはずのケニアが目に浮かぶような話が続きました。また、「ゆったりとした時の過ごし方の贅沢さ」など、“先進国の価値観が絶対ではない”というくだりでは、思わずうなずく人が、多数いました。

お知らせ掲示板

各種イベント・講座のお問い合わせ＆申込みは、
電　話：077-551-0293（月～金 9:00～17:00）
ＦＡＸ：077-554-1123
メールアドレス：mail@rifa.jp（随時）

第４回　世界と出会う玉手箱

けん玉は世界を渡る

【と　き】　1月24日（日）10：00～12：00
【場　所】　中央公民館（大ホール）
【講　師】　窪田　保さん
【内　容】　けん玉を通して見えてきた
　　モザンビークの人たち。
　　けん玉チャンピオンの腕前披露！
【定　員】　40名（親子優先）

＊見学に関しては、定員の限りではありません。
　まずは、お問い合わせください。

第５回　世界と出会う玉手箱

アラブの文化・ヨルダン料理

【と　き】　2月14日（日）10：00～15：00
【場　所】　コミュニティセンター治田東
定員に達しました。ありがとうございました。

在住外国人生活相談窓口（ポルトガル語通訳）

毎週水曜日の午後、ポルトガル語通訳による在住外国人の生活相談窓口を開設し、市役所窓口での各種手続きのサポートを行っています。現在、昨年度を大きく上回る外国籍住民が相談に訪れています。相談内容は、「税金・仕事・健康保険」が多いですが、行政手続きだけにとどまらず、生活の苦しさを訴える相談者も多く、一人あたり30分～1時間半ほどかかることもあります。

また、この生活相談窓口には、日本人から外国籍住民への伝達のために「ゴミ出しのルールをポルトガル語に翻訳してほしい」などの相談も寄せられます。簡単なあいさつや自治会活動などのコミュニケーションに役立つ「日本語・ポルトガル語対話集」がありますので、ご希望の方は、事務局までお問い合わせください。

最近、物資の支援を求めて、市役所へ来られる外国籍の方が増えています。栗東国際交流協会では、『しが外国籍住民支援ネットワーク』事務局を紹介していますが、現在、物品や募金が不足している状態だということです。米・小麦粉・即席麺・缶詰類・食用油・砂糖・粉ミルク・紙おむつなどの提供に、改めてご協力をお願いいたします。

会員募集中！

【会員特典】
ＲＩＦＡイベント、講座参加費の割引、
会報「Koryu」、イベント案内のお届け
【会費（年間）】
　個人会員　　2,000円
　家族会員　　3,000円
　法人会員　　10,000円

委員会
総務広報委員会
・会報「Koryu」発行（年４回）
・会員拡大・協会のPR活動
・ＨＰの作成・管理
文化交流委員会
・異文化交流サロン・イベント企画運営
・友好都市・姉妹都市との交流活動

ボランティア活動
・語学（通訳、翻訳）
・日本語指導
・ホームステイ＆ホームビジット
・文化紹介
・その他

より積極的に、楽しく。
RIFAを盛り上げたい！
活動したい！と思ったら
→委員会＆ボランティア
　活動に参加しよう♪♪

平成21年度会費未納の方は、引き続き、ご協力をよろしくお願いします。

外国籍の方の参加も大募集中！お友達にご紹介ください。

【春夏秋冬】

2009年の世相を表す「今年の漢字」に「新」が選ばれました。16年ぶりに新政権が誕生し、スポーツ界では男子ゴルフの石川遼選手が国内史上最年少の18歳で新賞金王に輝きました。一方で、新型インフルエンザの猛威もあり、不安と期待の入り交じった年でした。

この「新」は、新たな時代の幕開けと捉え、新年は政治も経済も国際交流の活動も中身をともなう「新」としたいものです。（K.K）